

令和2年度 学校自己評価計画書

石川県立七尾特別支援学校珠洲分校

重点目標	具体的取り組み	主担当	現 状	評価の観点	実現状況の達成度判断基準	判定基準	備考
1 授業実践力の向上	研究授業の指導案を当該部だけではなく、小中高の3つの部を混ぜたグループで検討する機会を設けることで、授業づくりを通して、自らの授業改善につなげていく。	教務課	研究授業や互見授業では、終了後の反省会には参観した教員が小中高に関係なく意見を言い合う場面があるが、授業前の検討会は、その部だけのメンバーで行われることがほとんどである。	【成果指標】 研究授業や検討会を受けて自らの授業改善に取り組んだ教員の割合で評価する。 アンケートを取り評価する。 1：取り組めた 2：取り組めなかった (自分の授業の中でどの部分を改善したかを記述する。)	授業改善に取り組めた教員の割合が A：90%以上 B：70%以上 C：50%以上 D：50%未満	C以下であれば取り組み内容及び方法を再検討する。	年度当初に授業研究の計画を示していく。
2 組織的・系統的なキャリア教育	保護者がわが子の高等部卒業後の姿を早い段階から意識できるような情報を各学部からも提供する。	進路指導課各学部	昨年度の4月時点での中高等部生徒の約80%が高等部卒業後の進路について見通しを持っていない状態であり、高等部になってから卒業後の進路を考える状態となっている。	【満足度指標】 年間を通して毎月「キャリア通信～轍(わだち)～」を発行し、保護者の意識が高まるような情報を提供する。 前期、後期毎に保護者にアンケートをとり、情報提供について以下の項目で評価する。 1：とても参考になった 2：まあまあ参考になった 3：あまり参考にならなかった 4：参考にならなかった	アンケートの結果「とても参考になった」「まあまあ参考になった」の合計の割合が A：90%以上 B：70%以上 C：50%以上 D：50%未満	C以下であれば取り組み内容及び方法を再検討する。	前・後期に学校評価教員アンケートを行い評価する。
3 安心・安全な学校づくり	搜索訓練、避難訓練、など安心・安全な学校づくりのための取り組み内容をWebページや生徒指導通信で複数回発信する。	生徒指導課	Webページを通して情報を発信しているが、通信による情報提供の回数が年度末に一回だったのでWebページの発信に加えて通信での発信を増やすことで、情報提供を充実させたい。	【努力目標】 安心・安全な学校づくりのための取り組み内容をWebページや生徒指導通信で発信した回数で評価する。	情報をWebページや生徒指導通信で発信した回数 A：9回以上 B：7回以上 C：5回以上 D：5回未満	C以下であれば取り組み内容及び方法を再検討する。	情報の発信回数で評価する。
4 業務改善に向けた意識改革	計画的・効率的に業務を遂行し、メリハリのある時間管理に努め、ワークライフバランスのとれた勤務を行うことでより良い業務につなげる。	全職員	時間外勤務時間は減少傾向にある。ワークライフバランスの取れた勤務を行うことで心身を良好に保ち、より効率的・創造的な業務につながることを意識できるようにしたい。	【努力目標】 ワークライフバランスのとれた勤務を行うことで、より良い業務につなげることができたかアンケートで評価する。 1：つなげることができた 2：まあまあできた 3：あまりできなかった 4：できなかった	アンケートの結果1と2を合わせた教員の割合が A：90%以上 B：70%以上 C：50%以上 D：50%未満	C以下であれば取り組み内容及び方法を再検討する	前・後期に学校評価教員アンケートをとり評価する。